



Bunsoについて（法学文献テンプレートの利用法）

レポートや論文で頭が痛いのは引用文献をいかに整理するかということです。ただの読書録であれば表計算ソフトやデータベースソフトでいいのですが、引用となると話は別です。この分野ではMac/WinでEndNote、Windows専用ではGetARefというソフトがありますが、いずれも高価です。

オンラインの世界ではこの分野に該当するソフトがいくつかありますが、機能やユーザーインターフェイスに秀で、しかも無料なのが佐々木和裕さんの「Bunso」です。Bunsoには次のような特色があります。

1. カードレイアウト・フィールドが自由自在に設定できる
最大の特徴は文献カードのレイアウトが自由であるということです。テンプレートからの選択ではない点が評価できます。これにより専門分野に特化したレイアウトが可能になります。
2. MS-Word/Excelとの連携
いまやワープロのスタンダードであるWordの文書（97/98/2000/2002/2003形式を含むdocファイル）を読み込んで文献リストを自動で付ける機能があります。またBunsoのデータをExcelのワークシートに読み出すことができます。
3. 引用形式は自分で設定できる
引用形式は分野によって少しずつ変わっています。Bunsoではカスタマイズを自在にすることでこれに対応しています。

ここでは法律学の文献引用に特化した「法学文献テンプレート」の使用法を紹介します。法学文献テンプレートのダウンロードは[ここをクリック](#)して下さい。

Visitors since May 2 1997 : **099932**



2004年5月20日よりアメリカ法文献データ入力に完全対応したVersion3.0の公開を開始しました。

1. はじめに

Bunsoはフリーウェアの文献管理ソフトです。文献管理ソフトは有名なものからそうでないものまで幅広く存在し、有名ソフトはかなりの値段がします。そんな中、Bunsoはフリーで使えるにもかかわらず機能は非常に優れています。このテンプレートはBunsoで法学文献を整理したい方のためのものです。

医学系の文献を整理するのに利用しようと考えている方は[医系学生・研究者のための情報検索・文献管理ガイダンス（九州大学医学図書館）](#)を参照して下さい。

このページで使われているスクリーンショットは基本的にWindowsXPでの画面です。Windows95/98/Meでは若干異なる場合がありますのでご注意下さい。



Version 3.0... 今回のバージョンから加わったり改良された部分について説明しています。

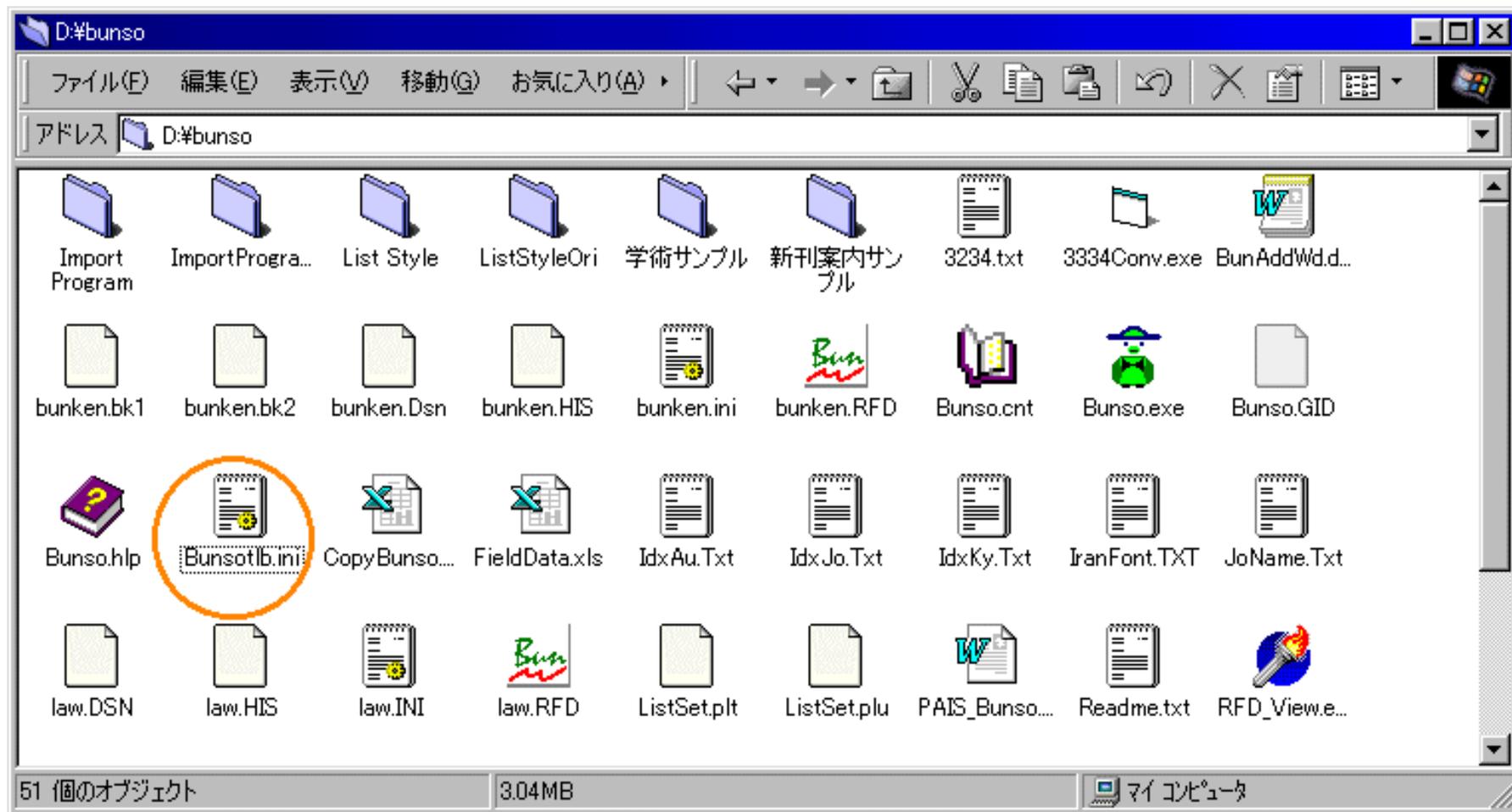
2. 動作環境・準備

必要なのは**Bunso3.61**以上（このテンプレートは**3.65**で作成）です。ページコントロールを利用していますので、**3.6**では利用できません。Windows95/98/Me/XPで動作を確認しています（ただしXPでは複数のBunsoを起動して同時に操作をすると挙動不審になる場合があります）。

この実行ファイル（圧縮ファイル）を実行すると、インストール先（デフォルトはC:\Program Files\bunso）を選択すれば自動的にフォルダへのコピーがなされます。

test.rfdはこのヘルプファイルで用いているサンプルデータを入力したファイルです。ヘルプファイルのスナップショット以外の例も入っています（このテンプレートで利用できる13種類の形式すべての例を含んでいます）ので初めての方は一度ごらんになることをおすすめします。

Bunso3.61以前からUpgradeする場合の注意



ページコントロールを利用するためにはひとつ操作が必要です。Bunsoが入っているフォルダ（この例ではD:\Bunso）にもしBunsotlb.iniというファイルがあったらこれを削除してください。ページレイアウトの初期化が必要だからです。

3. 起動



Bunsoを起動し、新規作成を実行すると新規作成ファイルの名前・保存場所の指定ののちに、上の画面がでてきます。ここでテンプレートデータベースのコピー作成を選び、設定・変更ボタンを押して先ほどコピーしたlaw03.rfdを選択してください。OKをおせば次の画面になるはずで



著者(A)	<input type="text"/>
論文名(I)	<input type="text"/>
编者	<input type="text"/>
書名(B)	<input type="text"/>
出版社(P)	<input type="text"/>
出版地	<input type="text"/>
年(Y)	<input type="text"/>
頁	<input type="text"/>
初出年(O)	<input type="text"/>
記念論文集標題	<input type="text"/>
頁(特定)	<input type="text"/>
メモ(M)	<input type="text"/>
files(F)	<input type="text"/>

1 / 1 新規作成 書籍に関するデータを入力します。

このようにならなかった場合はファイルのコピーがきちんとされているか確認してください。

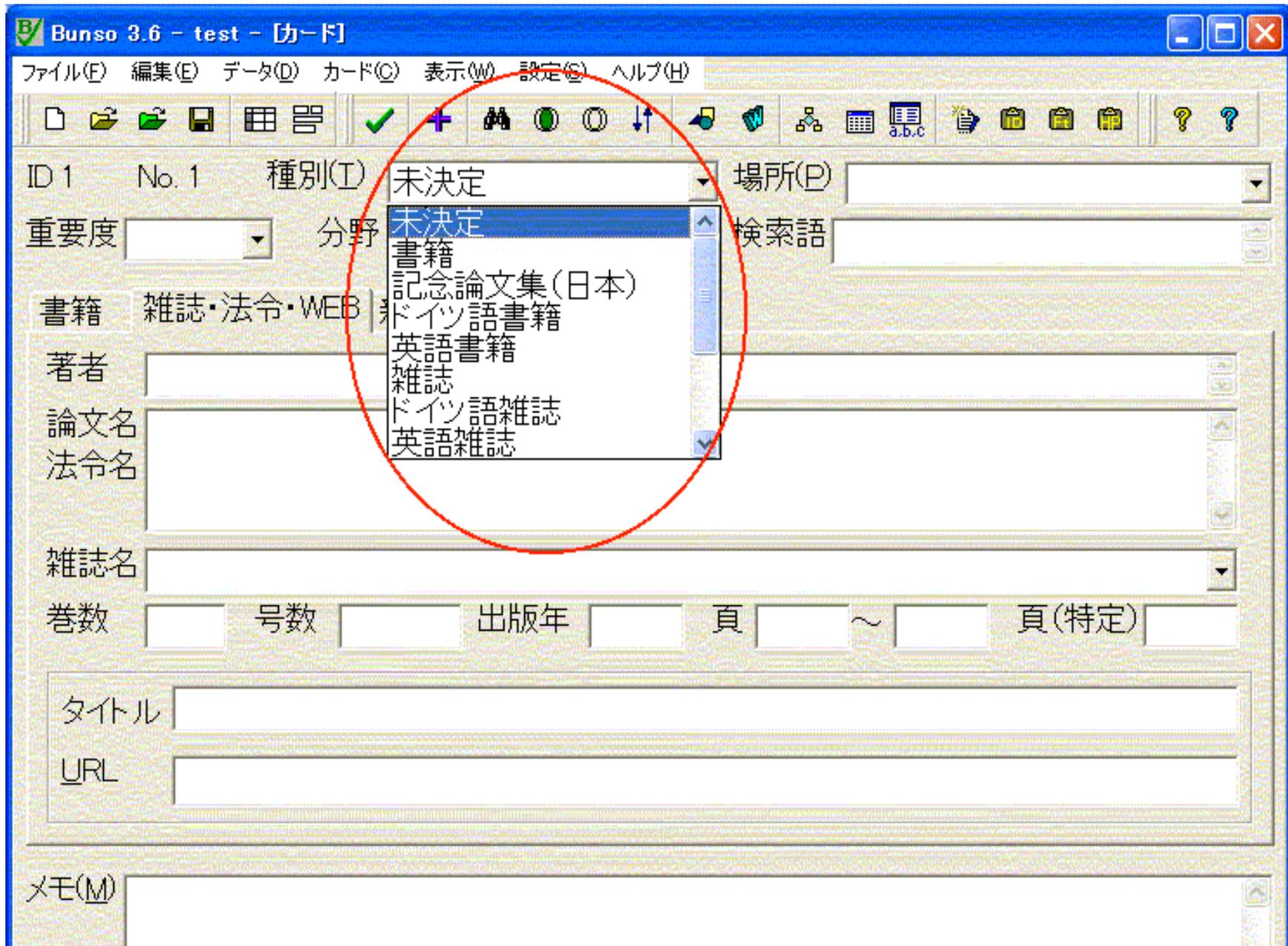


Version 3.0からカード画面の配置を見直し、より使いやすいものに変更しています。

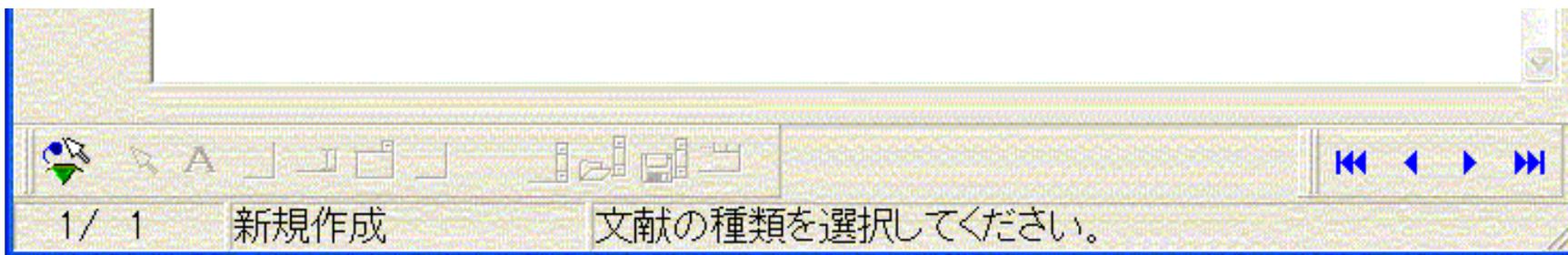
4. データの入力

Bunsoはカード画面と一覧表画面の二つを持っていますが、入力にはカード画面が便利です。

最初に種別を決定します（楕円で囲まれている部分）。これを決定しないと文献リスト出力時のフォーマットが決まりませんので、この部分を未決定のままにしないように気をつけてください。



The screenshot shows the 'Bunso 3.6 - test - [カード]' window. The '種別' (Category) dropdown menu is open, displaying a list of options: '未決定', '書籍', '記念論文集(日本)', 'ドイツ語書籍', '英語書籍', '雑誌', 'ドイツ語雑誌', and '英語雑誌'. A red circle highlights this dropdown menu. The interface includes a menu bar (File, Edit, Data, Card, View, Settings, Help), a toolbar with various icons, and several input fields for 'ID', 'No.', '重要度', '分野', '場所', '検索語', '著者', '論文名', '法令名', '雑誌名', '巻数', '号数', '出版年', '頁', and '頁(特定)'. There are also fields for 'タイトル' and 'URL', and a 'メモ' (Memo) field at the bottom.



法学文献テンプレートでは書籍・記念論文集（日本）・ドイツ語書籍・英語書籍・雑誌・ドイツ語雑誌・英語雑誌・判例集・判例集（ドイツ公式）・判例集（ドイツ商業誌）・判例集（アメリカ）・WEBページ・新聞の13の文献パターンを持っています。それぞれの文献パターンは次のようになっています。

書籍	山田太郎「行政改革」鈴木大介編『日本の行政』（出版・2002年）5-7頁[初出1999年]
記念論文集（日本）	山田太郎「行政法の課題」鈴木大介先生古稀記念『行政法の展望』（出版・2001年）1-15頁
ドイツ語書籍	Michael Mayer, Zur Qualifikation von Pflegeversicherung, in: Wolfgang Morzart(Hrsg.), Festschrift für Otto Ende, C.H. Beck München, 2003, S.507-525
英語書籍	Richard A. Posner, Antitrust Law 2nd ed. (The University of Chicago Press, 2001)
雑誌	山田太郎「省庁再編の課題」法学雑誌89巻5号（1999年）12-25頁
ドイツ語雑誌	Michael Mayer, Die Reform von Verwaltung, Verwaltungs-Archiv 2004, S.149
英語雑誌	Jonathan Weinberg, "Broadcasting and the Administrative Process in Japan and the United States", 39 Buffalo Law Review 615-735 (1991)
判例集	静岡地決昭和59年6月25日判例タイムズ534号157頁
判例集（ドイツ公式）	BVerfG Urt. v. 25.3.1980 E 53, 366
判例集（ドイツ商業誌）	BGH Urt. v. 22.6.1995, NJW 1995, S.2923
判例集（アメリカ）	Maple Flooring Manufactures' Association v. United States, 286 U.S. 563 (1925)
WEBページ	「paco」（ http://www.law.kyushu-u.ac.jp/~taiki/index.html ）
新聞	「省庁再編後の霞ヶ関」（毎朝新聞2001年2月5日朝刊）

あとは必要事項を入力するだけです。



Version 3.0から新たに「判例集（アメリカ）」を加えました。また英語書籍・英語雑誌の出力方法をより一般的な形式に変更しました。

書籍

Bunso 3.6 - test - [カード]

ファイル(E) 編集(E) データ(D) カード(C) 表示(W) 設定(S) ヘルプ(H)

📁 📂 📄 📁 📄 📄 ✓ + - 🔊 🌐 🕒 ⬆️ ⬆️ ⬆️ 📄 📄 📄 📄 📄 ? ? 🗑️

ID 1 No. 1 種別(I) 書籍 場所(P)

重要度 A 分野 行政法総論 検索語

読み(K) おおはしよういち

書籍 | 雑誌・法令・WEB | 新聞・判例集

著者(A) 大橋洋一

論文名(I)

編者

書名(B) 行政法 現代行政過程論

出版社(P) 有斐閣 年(Y) 2001 頁 ~ 初出年(O)

出版地

記念論文集標題 頁(特定)

メモ(M)

URL

メモ(M)

files(E)

13/ 13 並べ替え 種別に従ってタブを選択してください。

判例集

Bunso 3.6 - test - [カード]

ファイル(E) 編集(E) データ(D) カード(C) 表示(W) 設定(S) ヘルプ(H)

ID 8 No. 8 種別(I) 判例集 場所(P)

重要度 C 分野 社会法 検索語

読み(K)

書籍 | 雑誌・法令・WEB 新聞・判例集

事件名・記事タイトル(C) 生活保護法指導記録表と情報公開

判決等(日本) 東京 高 判

新聞 平成 14 年 9 月 26 日

その他の判例集

判決等(日本) 年 月 日

新聞 その他の判例集

判例集 巻 号 頁

アメリカ判決名

巻数 判例集名 頁 裁判所名 Year

ドイツ BVerwG 97 , 53 , Ur. v. 20.10.1994 S.

メモ(M)

files(F)

13/ 13 並べ替え 判決か決定かを選択します。

Bunso 3.6 - test - [カード]

ファイル(E) 編集(E) データ(D) カード(C) 表示(W) 設定(S) ヘルプ(H)

ID 11 No. 11 種別(I) 判例集(アメリカ) 場所(P)

重要度 A 分野 経済法 検索語

読み(K)

書籍 | 雑誌・法令・WEB | 新聞・判例集

事件名・記事タイトル(○)

判決等(日本) 年 月 日

新聞 その他の判例集

判例集 巻 号 頁

アメリカ判決名

巻数 判例集名 頁 裁判所名 Year

ドイツ , , Ur. v. S.

メモ(M)

files(F)

13/ 13 並べ替え 次のデータ

入力するときにはまずタブ（書籍・雑誌・判例集）を選択してください。

リストに反映されるのはタブに含まれている項目 + 場所です。次のフィールドは次のような場合に使います。

場所...保存しているファイル名や書架名を入力します。リストでは引用形式の最後に括弧付で出力されます。

重要度...文献の主観的重要度を入力すると検索ダイアログで利用できます。また「未読」としておけば、未読文献のリストアップに役立

ちます。

分野...検索やソートで役立ちます。

検索語...タイトルでは現れていないキーワードを入れておくと検索時に役立ちます。外国文献の場合に訳語のキーワードを入れておくのもよいかもしれません。

メモ...自由に記入できます。リストには出力されません。

ドイツ語文献の入力時の注意

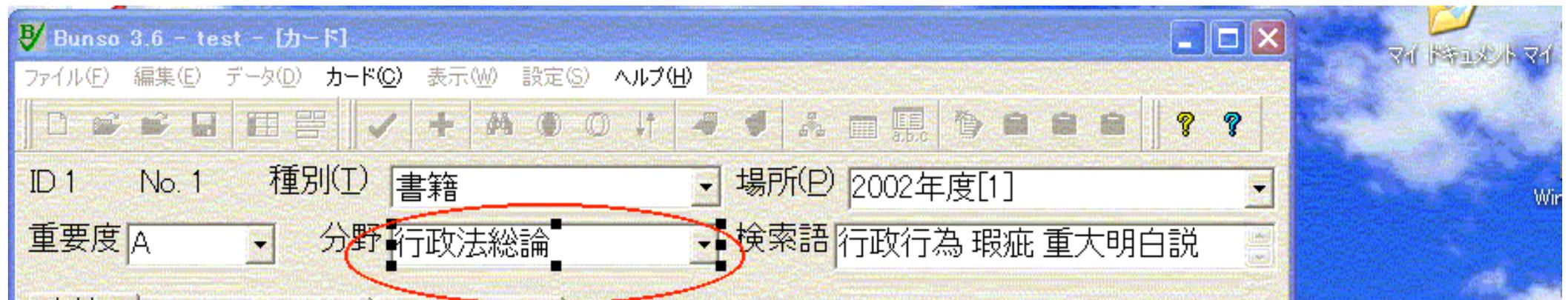
Bunsoではリッチテキストコントロールを利用することができますが、今のところウムラウトなどのドイツ語特殊文字をうまく表示させるようにテンプレートを設定することができていません。またリッチテキストコントロールを使用すると汎用性を失う恐れもなくはありません。そこで、当面の手当として

1. ドイツ語特殊文字を次のように入力する
ä [ae] ö [oe] ü [ue] ß [ss] Ä [AE] Ö [OE] Ü [UE]
角括弧もつけて入力してください。
2. Bunsoからリスト出力後、ワードにリストをペーストする。
3. 添付のウムラウト変換.docを利用して置き換えを行う。(アルファベット ウムラウト というマクロを実行させます)

という手順を踏んでみてください。(一太郎用のマクロをつくろうとしましたが、置き換えでウムラウトなどをうまく認識してくれません)

5. カスタマイズの一例

Bunsoでは入力を助けるドロップダウンリストが利用できますが、その候補名を変更することができます。他にもいろいろカスタマイズできるのですがそれらはBunsoヘルプをみてください。(わかりやすいですよ)



書籍 | 雑誌・法令・WEB | 新聞・判例集

著者(A) 田中二郎

論文名(I) 行政行為の瑕疵—無効原因の一考察—

編者

書名(B) 行政行為論

出版社(P) 有斐閣 年(Y) 1957 頁 1 ~ 107 初出(Q)

標題

メモ(M)

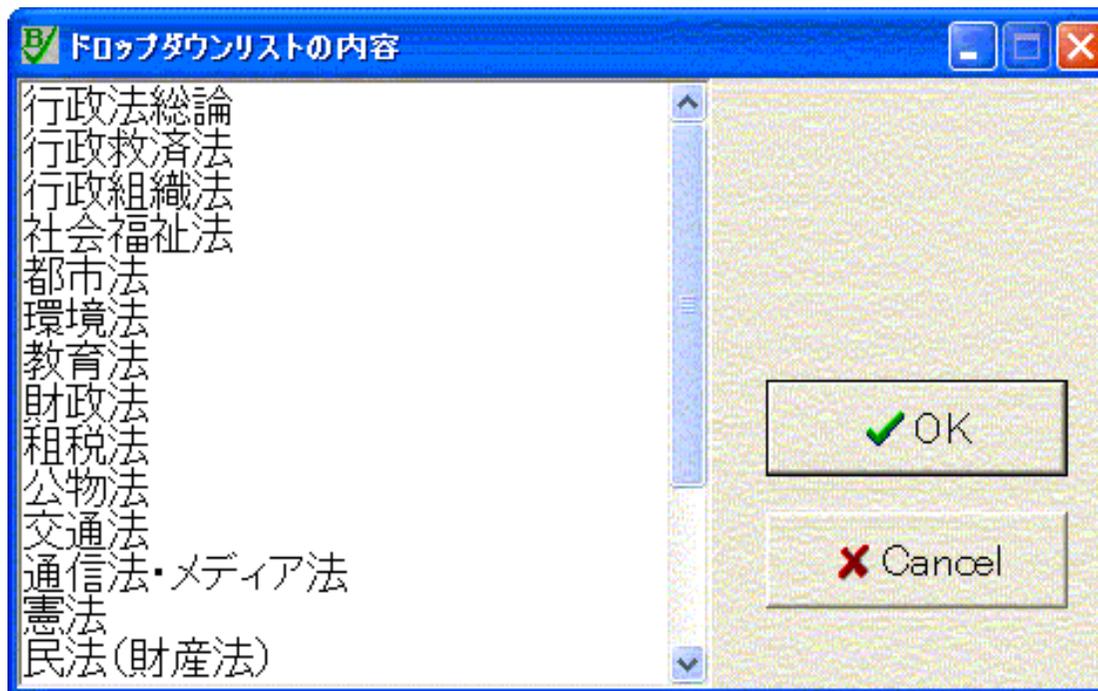
3/ 3 レイアウト変更中

コンポーネントインスペクタ

項目	設定値
Color	-2147483643
フォント	(TFont)
高さ	26
Left	216
Top	40
幅	192
表示対象項目	field
リスト	(TStrings) 
IME Mode	imDontCare
フォーカス順序	5
ヒント	分野を選択してくだ

? ヘルプ(H)

ここでは「分野」のドロップダウンリストを変えましょう。レイアウトの変更ボタン（画像の左下）を押して「分野」のドロップダウンリストをマウスで選択し、でてきたコンポーネントインスペクタのリスト項目の丸印を押すと



このような画面が出てきますので、ご自分のよく利用される分野名を入力してください。項目を区切るために改行を入れてください。OKをおせば編集終了です。レイアウト変更ボタンをもう一度押せば変更画面が終了します。

6. 検索しよう

次にBunsoの表画面から検索を行いましょう。



2		遠藤博也	行政法上の請求権に関する一考
3			
3/ 3	レイアウト変更終了		

赤い楕円のところのボタンを押すと次のようなダイアログが出てきます。

検索

検索(S)

共通項目		書籍	
種別	<input type="text"/>	著者	<input type="text"/>
場所	<input type="text"/>	論文名	<input type="text"/>
重要度	<input type="text"/>	書名	<input type="text"/>
分野	<input type="text"/>	雑誌・Web	
検索語	<input type="text"/>	著者	<input type="text"/>
メモ	<input type="text"/>	論文名	<input type="text"/>
判例集		雑誌名	<input type="text"/>
日本	<input type="text"/>	Web	<input type="text"/>
ドイツ	<input type="text"/>	URL	<input type="text"/>
アメリカ	<input type="text"/>		

条件(J) And Or
 部分(E) 完全(E)

チェックマーク検索 全てのデータを対象に「チェックマーク検索」(F5)
 一覧表のデータを対象に「チェックマーク検索」(F6)

マーク変更

画面レイアウト変更

検索によく利用されると思われるフィールドは用意しています。検索したいフィールドに対して言葉を入れて「全てのデータを対象に検索」を押してください。なお複数フィールドにわたる検索は赤丸のボタンの左隣を使います。

検索ダイアログも画面レイアウトを変更することができますので一度やってみてください。

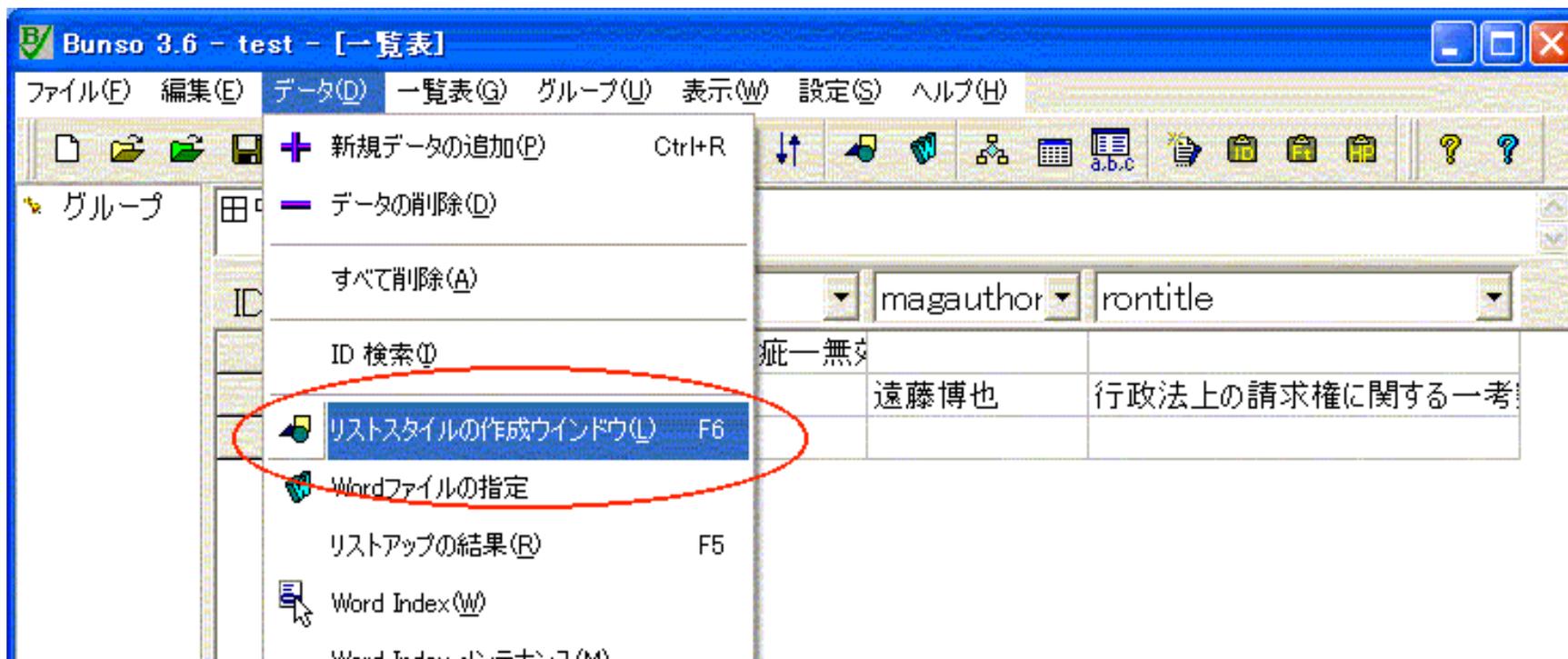


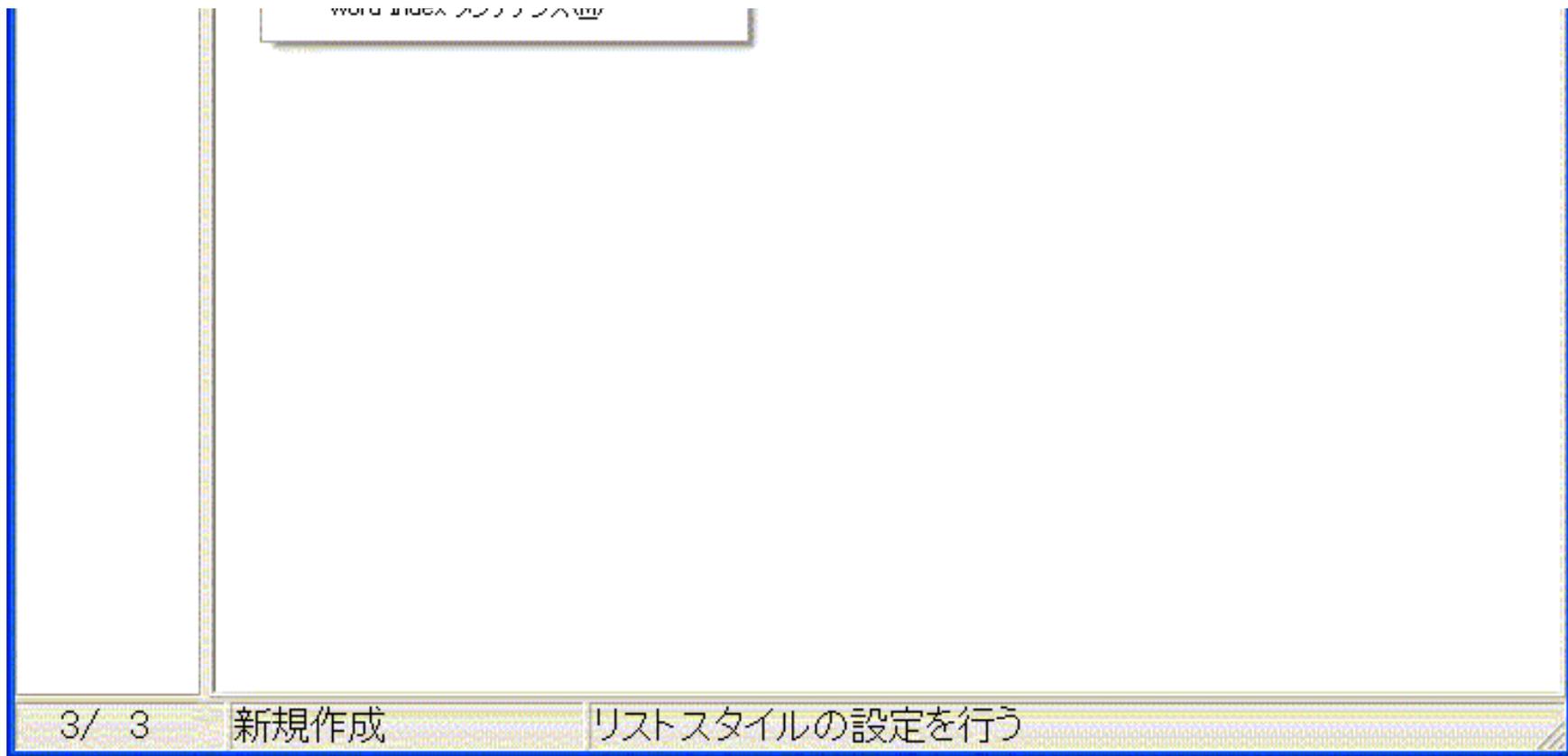
Version 3.0ではアメリカの判例名検索フィールドを追加しました。

7. リストの作成

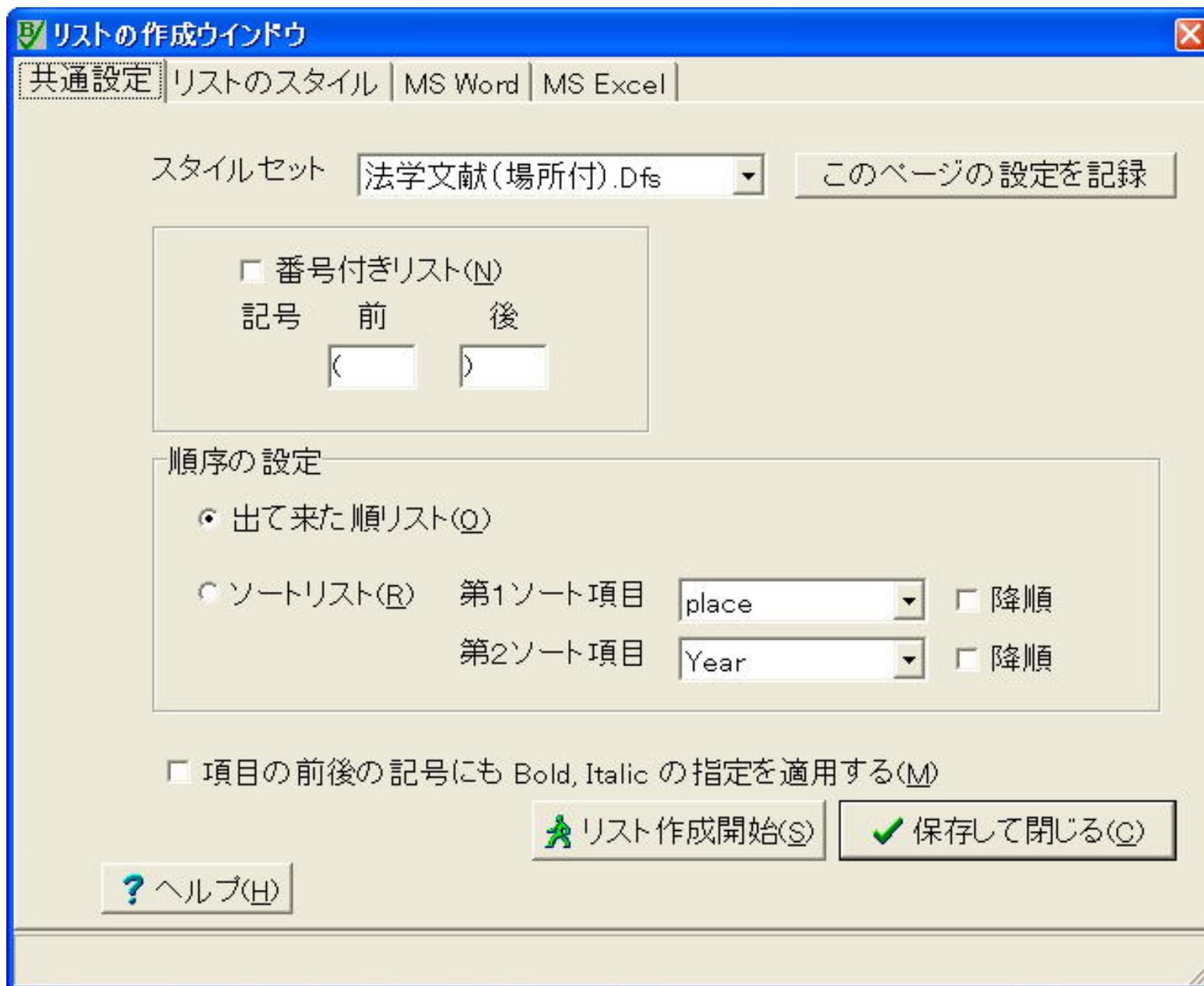
Bunsoにはたくさんの機能が備わっているため、文献テンプレートの最後の作業がリストの作成であるとはいえないのですが、文書作成にあまりWordを利用していない（フリーズが怖い...）（=BunsoにはWordとの連携機能がありますからWordをお使いの方はぜひ利用してください。私は一太郎を基本的に使っているので一太郎連携がほしいところですが...）という個人的理由もあって、最後の作業はリスト作成ということにします。

リスト作成はまず表画面にして、データ-->リストスタイルの作成ウインドウを選択します。





でてきた画面の「リストのスタイル」タブを押して、赤丸部分を「法学文献（場所付き）.Dfs」にしてください。おそらく下の画面のような関連づけの設定されると思います。そうならない場合はList StyleをDrag&Dropしてこの画面のように設定してください。一度設定して組み合わせを記録ボタンを押せばその組み合わせが記録されます。



すると次のような画面が出てくるとと思います（データが入っている場合）。あとはコピーしてエディタなどに貼り付けるといろいろなソフトに利用可能な状態になります。



8. 終わりに

Bunsoは多機能ですから他にも紹介すべき機能は多くあります。しかしそれらの解説はBunsoヘルプの方が優れていると思いますので割愛させていただきます。最後に、このテンプレートの作成にあたり、Bunso作者である[佐々木和裕さん](#)には大変お世話になりました。ここに記して感謝申し上げます。

このテンプレートはフリーウエアで転載・改変など一切自由ですが、もしこれよりもいいテンプレートができれば[原田大樹](#)までメールをください。多くの方々のアイデアでよりよいテンプレートにしたいと思います。